

愛車を身边にガレージハウス

東郊建設 あきる野市



ガレージハウスの一例(イメージ)

シリーズ わが社の一押し製品

今年の「一押し」シリーズは変わり種からスタート。東郊建設(あきる野市小川東、長塚弘司社長)のガレージハウスを紹介する。

ガレージハウスは1階部分に駐車スペースを組み込んだ住宅のこと。愛車を盗難などから守り、その存在を常に感じていて、と願うオーナーに欠かせない建物という。

同社は注文住宅得意とする建設会社。長塚社長(60)がハーレーダビッドソンを乗り回す「バイク乗り」だつ

たことから、10数年前

からガレージハウスの施工を手がけ、5年ほど前からは同社の主力商品として打ち出して

いる。社長自ら顧客応

対し、限られた面積、予算の中で最適な設計

を客と一緒に考える。

施工実績はまだ数え

るほどだが、ここ数年

はバイク、車のほか競

技用自転車を所有する

人や、雨の日にぬれず

に家に入りたいといふ

子育て世代からの問い合わせが増えていく。

長塚社長は高校卒業後、地元の内装工事会に勤め、25歳で独

第三者承継を成立させ

た。その後

2016年に

東郊建設の社長に就いた。

若いころか

立。創業20年を迎えた

ら弟に会社を譲り、自

身は好物のもんじや焼

きの店を始める計画

だった。手本とする店

には自由に、だが目標

には経営状況が赤

字や債務超過でも、従

業員の技能やブランド

力、一部で採算がとれ

ている事業が評価され

M&Aだが、実は小規

模案件の方が多いこと

がわかる。

会社の経営状況が赤

字や債務超過でも、従

業員の技能やブランド

力、一部で採算がとれ

てている事業が評価され

M&Aだが、実は小規

模案件の方が多いこと

がわかる。

会社の経営状況が赤

字や債務超過でも、従

業員の技能やブランド

力、一部で採算がとれ

ていている事業が評価され

M&Aだが、実は小規

模案件の方が多いこと

がわかる。

会社の経営状況が赤